

# 学校評価のまとめ —福島市立清水中学校—

【評価点】「そう思う」(4点), 「だいたいそう思う」(3点), 「あまりそう思わない」(2点), 「そう思わない」(1点)で点数化  
【平均値】 3.25以上: A / 2.5以上~3.25未満: B / 1.75以上~2.5未満: C / 1.75未満: D

実践目標	教職員の自己評価項目と評価の観点・自己評価				外部評価		学校関係者評価	具体的成果(○), 課題(●), 改善策・要望等(※)		
	大	自己評価の項目	総合評価	小	自己評価の観点	観点評価		保護者	生徒	教職員自己評価の自由記述
学校運営の基本姿勢	1	教育目標「自立と共生～学び続ける生徒～」の達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	A	1-1 「報告・連携・相談」の原則	3.54 A	A		A	○保護者に対する迅速かつ丁寧な対応 ○信頼、応援される学校づくり② ○協働による学校運営② ○研修を通しての指導力向上② ○学年を越えた情報の提供 ●元気のある校歌斉唱 ●多忙化による教材研究の不足④ ●情報共有による組織的な取組と連携③ ●校務分掌の理解と積極的な提案・推進 ※校歌を歌う機会の増加 ※愛校心をはぐくむ校内ボランティアの導入	○子ども同士の会話の中で、自校を誇りに思う表現が聞かれる。 ●「清水中生としての誇り」に関して、生徒の自己評価を上げる働きかけが必要である。 ※「教育のプロ」としての自己評価がBではこまる。プロとしての自覚と自信を持ってほしい。
	2	清水中生としての誇りを胸に、将来の夢実現を目指し、諸活動に取り組ませている。	A	1-2 チーム学校による取組	3.32 A			B		
	3	保護者や地域から信頼、応援される学校づくりに努めている。	A	1-3 校務分掌の積極的推進	3.36 A	3.31		3.91		
	4	教育のプロとして、日々指導力の向上に向け、意欲的に研修を行っている。	B	2-1 誇りをもった校歌斉唱	3.32 A			A		
豊かな心を育成する	5	考え、議論する道徳の授業をめざし、共同研究に積極的に参画している。	A	2-2 個に応じた進路指導の工夫	3.41 A			3.91		
				2-3 大会参加等代表としての自覚	3.56 A	3.29	3.21	3.91		
				3-1 不祥事防止の取組	3.71 A			A		
	6	主体的な生き方を考えさせるために特別活動の充実を努めている。	B	3-2 早期発見、早期対応の姿勢	3.61 A				A	
				3-3 保護者に寄り添う姿勢	3.61 A	3.18		3.82		
				4-1 教材研究の時間の確保	3.04 B			B		
	7	自己の生き方を考えさせるために総合的な学習の時間を効果的に活用している。	B	4-2 免許(担当)教科の授業の充実	3.37 A				B	
				4-3 各種研修への参加	3.04 B	3.09		3.20		
5-1 35時間完全実施				3.59 A	A	A	A			
8	自己肯定感を育てる生徒指導の充実を努めている。	B	5-2 考え、議論する時間の確保	3.37 A				A		
			5-3 研修への意欲的な取組	3.41 A	3.33	3.45	3.73			
			6-1 「中学生活と進路」の活用	3.00 B	A	A	A			
			6-2 学級会活動の充実	3.04 B						
			6-3 生徒会活動の充実	3.15 B	3.34	3.46	3.45			
9	基礎的・基本的な知識・技能の育成に努めている。	B	7-1 自己の個性の理解	3.15 B				A		
			7-2 キャリア教育の実践	3.00 B						
			7-3 学校行事における活用	3.31 A	3.13		3.36			
10	思考力・判断力・表現力を育成するために授業を工夫している。	A	8-1 互いに高め合う集団づくり	3.33 A	B	B	A			
			8-2 自己存在感を与える指導の工夫	3.22 B						
			8-3 カウンセリングマインドの充実	3.19 B	3.06	2.96	3.40			
11	主体的な学習態度や学習習慣を確立させるの粘り強い指導に努めている。	A	9-1 授業スタンダードの活用	3.22 B	B	A	A			
			9-2 基礎・基本の確実な定着	3.37 A						
			9-3 見直しや振り返りの時間の確保	3.00 B	3.17	3.35	3.45			
			10-1 言語活動の充実	3.37 A	B	B	A			
12	ICTを積極的に活用した授業実践に努めている。	B	10-2 主体的、対話的な時間の確保	3.12 B						
			10-3 生徒指導の機能を生かした授業	3.33 A	3.17	3.01	3.73			
			11-1 学習の約束事の徹底	3.65 A	A	B	A			
13	体育の授業や部活動を通して、体力・運動能力の向上に努めている。	A	11-2 家庭学習スタンダードの活用	3.00 B						
			11-3 朝自習や朝の読書の充実	3.54 A	3.25	3.21	3.82			
			12-1 授業におけるICT機器の活用	2.59 B	B		A			
14	学校生活全般にわたり、健康教育の充実を努めている。	B	12-2 研修への積極的な参加	2.63 B						
			12-3 タブレット操作に関する理解	2.63 B	2.96		3.30			
			13-1 計画的・効果的な指導の工夫	3.37 A	A	A	A			
15	交通安全、学校事故、ネットトラブル等の未然防止のために、継続的な安全教育を推進している。	A	13-2 スポーツに親しむ心を培う授業	3.30 A						
			13-3 たくましい心身をはぐくむ部活	3.30 A	3.38	3.48	3.82			
			14-1 ヘルスカウンセリングの推進	3.21 B	A		A			
16	美しい学校環境づくりに努めている。	A	14-2 食に関する指導の推進	3.24 B						
			14-3 歯の健康に関する指導の充実	3.13 B	3.31		3.64			
			15-1 各種教室、訓練の充実	3.50 A	A	A	A			
17	各種たより(学校・学年・学級・保健等)、メール、ホームページ等で有効な情報を提供している。	A	15-2 継続的な指導の推進	3.52 A						
			15-3 放射線に関する正しい理解	2.77 B	3.33	3.68	3.82			
			16-1 管理区域の整理整頓	3.30 A	A	A	A			
18	学校生活全般にわたり、健康教育の充実を努めている。	B	16-2 掲示物の管理	3.27 A						
			16-3 清掃活動の徹底	3.44 A	3.41	3.35	3.91			
			17-1 各種たよりによる提供	3.58 A	A	B	A			
19	学校評価や学校評議員会により、学校教育に関する意見を集約し改善のために活用している。	A	17-2 HPによる情報発信	3.28 A						
			17-3 緊急メール配信の活用	3.38 A	3.53	3.02	3.91			
			18-1 授業や行事等での連携	3.30 A	A		A			
20	学校・家庭・地域(後援会等)の連携による教育活動が推進されている。	B	18-2 地区連携推進協議会の活動	3.21 B						
			18-3 情報の発信と共有	3.12 B	3.38		3.36			
			19-1 学校評価の実施と分析	3.40 A	B		A			
21	学校・家庭・地域(後援会等)の連携による教育活動が推進されている。	B	19-2 結果の公表	3.48 A						
			19-3 学校評議員会の充実	3.21 B	3.20		3.91			
			20-1 保護者と顔の見える連携	3.22 B	B		A			
22	学校・家庭・地域(後援会等)の連携による教育活動が推進されている。	B	20-2 地域との連携(地域懇談会等)	3.19 B						
			20-3 PTA・後援会との連携協力	3.26 A	3.26		3.45			

高評価 ← 評価メータ → 低評価 (※次年度の重点努力事項)

